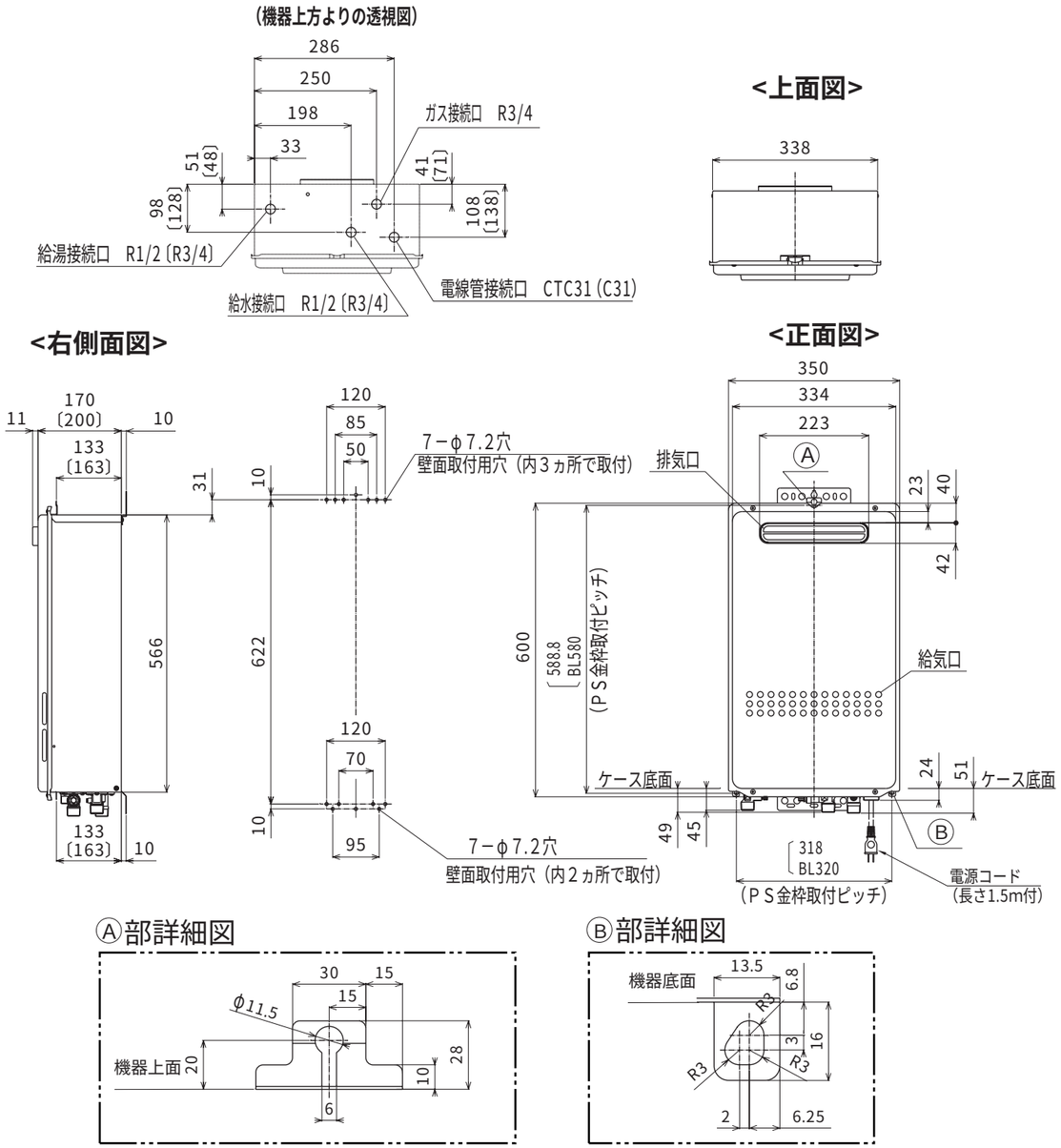
外形寸法図

●GW-16Y7・GW-16Y7M
●GW-20Y7・GW-20Y7M
●GW-24Y7

〔単位：mm〕
※〔　〕内の数値はGW－24Y7の場合



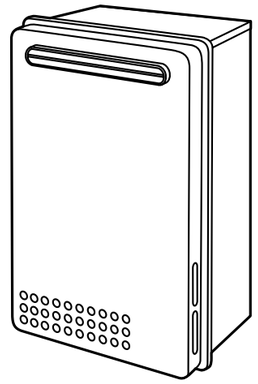
松下電器産業株式会社　リビングサポートシステム事業部
〒639-1188　奈良県大和郡山市筒井町800
電話（0743）56－1121

National

ガス給湯機

工事説明書（屋外式）

品　番	号数	設置方式
GW-16Y6・GW-16Y6M GW-16Y7・GW-16Y7M	16号	標準設置 （壁掛設置形 据置設置形 パイプシャフト設置形）
GW-20Y6・GW-20Y6M GW-20Y7・GW-20Y7M	20号	
GW-24Y6 GW-24Y7	24号	



もくじ　ページ

設置工事後の点検……2
同梱部品の確認……3
安全上のご注意……4
設置上のお願い……9
機器の設置……10
給水・給湯配管工事……15
凍結予防工事……17
ガス配管工事……17
電気工事……18
リモコン工事……20
試運転……22
外形寸法図……23

59186820　ケB68-02

工事される方へ…

⇒この機器を正しく安全にご使用いただくために、この工事説明書に基づいて設置してください。条件を外れた設置が原因で生じた故障及び損傷は、保証期間内でも有料となります。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へ…

⇒本製品は一般家庭用の製品です。従って使用頻度の高い業務用(飲食店等)にご使用の場合は、安全確保のために必ず定期点検(有料)を受けてください。定期点検を受ける先が不明の場合は、末頁の当社にお問い合わせください。

● 工事される方へのお願い ●

設置工事が終わったら下記のチェックリストに基づいて必ず再確認を行なってください。

設置工事後の点検

●チェックリスト

点検項目		点検内容	参照ページ	チェック
機器及びその周辺	ガス種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	5	
	電源(電圧・周波数)	銘板は使用する電源電圧(100 V)・周波数(50/60 Hz)に適していますか。	5	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	4	
	設置条件	障害物、窓等との離隔距離は十分ですか。	5	
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	9	
	給排気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	5	
	水平・安定設置	水平に設置され、ガタツキはないですか。	7	
給水給湯配管工事		**給水元栓を開け、給湯栓から水が出ることを確認しましたか。**	15	
		水ストレーナにゴミ等がついていませんか。	22	
		配管接続部からの水漏れはありませんか。	15	
		保温を完全に行ないましたか。	17	
ガス配管工事		接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	17	
電気配線工事		電源工事は指定された工事がされていますか。	18	
		アース線の接続は確実ですか。	18	
本体品番ラベル貼付		**台所・浴室リモコンに本体品番ラベルを貼り付けましたか。**	22	

同梱部品の確認

部品名	形状	数量	部品名	形状	数量
M5ねじ	機器固定用	3	取扱説明書		1
木ねじ	機器固定用	5	工事説明書		1
本体品番ラベル	リモコンに貼付用	2	保証書		1
			相談センター一覧		1

〔別売品一覧〕

(注意) コード接続式お湯はりオート付リモコンとコード接続式お湯はりオートなしリモコンとコードレスリモコンの混在使用はできません。

品名	品番 Y6・Y6M	品番 Y7・Y7M
台所リモコン(コード接続式)	お湯はりオート付：GW-P180 お湯はりオートなし：GW-P182	
浴室リモコン(コード接続式)	お湯はりオート付：GW-P181 お湯はりオートなし：GW-P183	
コードレス台所リモコンセット	GWE-P302 (お湯はりオートなし)	
コードレス浴室リモコン	GWE-P303 (お湯はりオートなし)	
据置台セット	AD-G220P1	16号 20号 AD-G220P1 24号 AD-G221P1
配管カバーセット 〈高さ450 mm〉	AD-G220P2	16号 20号 AD-G220P2 24号 AD-G221P2
配管カバーセット 〈高さ650 mm〉	AD-G220P3	16号 20号 AD-G220P3 24号 AD-G221P3
排気カバー上吹出し用	16号 AD-G220P7 20号 AD-G221P7 24号 AD-G222P7	AD-G223P7
排気カバー横吹出し兼アルコーブ用	16号 AD-G220P7-B 20号 AD-G221P7-B 24号 AD-G222P7-B	AD-G223P7-B

品名	品番 Y6・Y6M	品番 Y7・Y7M
リモコンケーブル	台所リモコン：AD-GWP102 浴室リモコン：AD-GWP221	
PS用リモコンケーブル	AD-GWP102P50	
PS用電源ケーブル	AD-GWP38-30	
厚壁スリーブ	AD-3724-1	
PS用金枠 〈巾470 mm〉	AD-G220A	AD-G221A
PS用金枠 〈巾342 mm〉	AD-G220B	AD-G221B
壁掛金具〈35 mm用〉	AD-G220P5	
壁掛金具補強板	AD-G220P6	
絶縁ブッシュセット	AD-G021	
アース線	AD-G3100-SS	
アース棒	OB-PC1A	

安全上のご注意 （必ずお守りください）

※本文中に出てくるイラストは、異なる場合があります。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

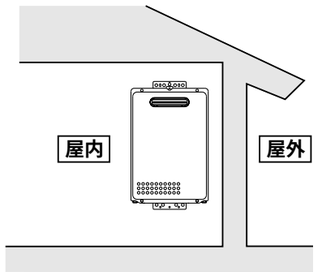
機器の設置基準

次の法、基準、指針、条例に従って設置してください。

- ●建築基準法
- ●電気設備技術基準
- ●ガス事業法
- ●液化石油ガス法
- ●水道法
- ●日本ガス機器検査協会発行の「ガス機器の設置基準及び実務指針」
- ●消防法に基づく火災予防条例に定める防火処置
- ●当該地区の市・町・村火災予防条例
- ●電気工事士法
- ●内線規定
- ●電気用品安全法

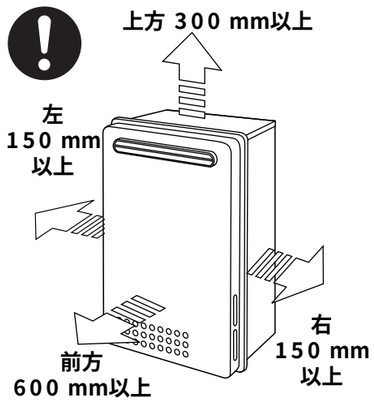
⚠危険

屋内に設置しない



燃焼排ガスが室内に充満したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

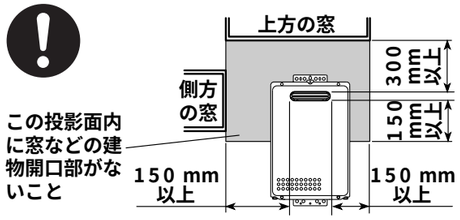
周囲の壁・天井などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることができる場所に設置する



上記の距離を確保しないと、火災の原因となります。

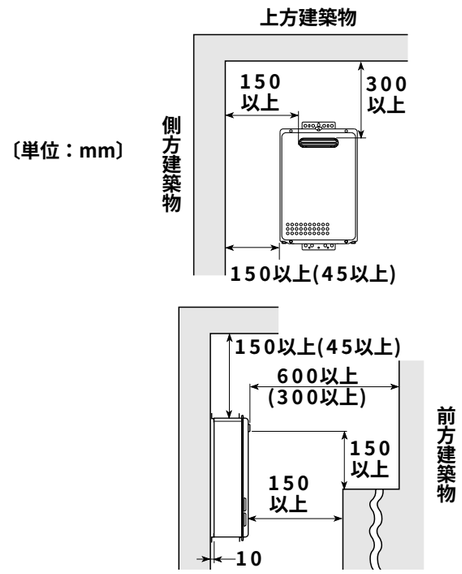
⚠警告

周辺はできる限り開口部のない場所に設置する（もし上方に窓のある場合は300 mm以上、側方にある場合は150 mm以上離してください。）



室内に排気ガスが流入すると酸欠や一酸化炭素中毒の原因となります。

可燃物までの距離は本体からと排気口からの両方を満足する



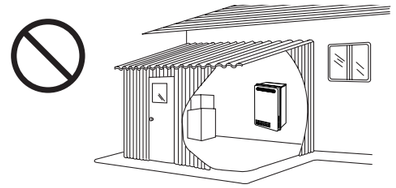
※(　)内は周囲の壁・天井に防熱板を取り付けた場合の寸法です。

上記の距離を確保しないと機器または建築物が過熱し、火災の原因となります。

ガソリン、ベンジン、灯油、接着剤などの引火性の危険物を扱う場所には設置しない

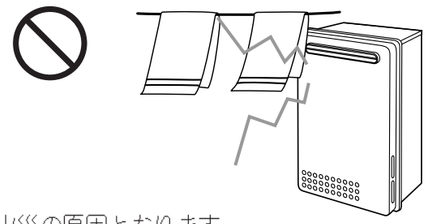
火災の原因となります。

屋内への設置はしない（増改築などにより屋内状態にしない）



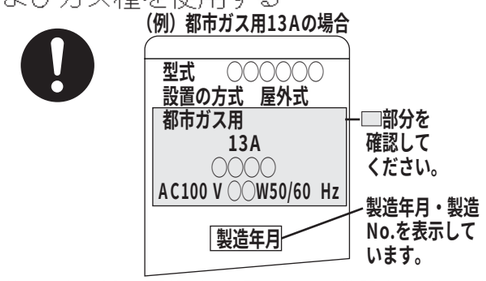
十分な給気ができないため不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

洗濯の物干し場など燃えやすいもののあるところには設置しない



火災の原因となります。

銘板に表示の電源（電圧・周波数）およびガス種を使用する

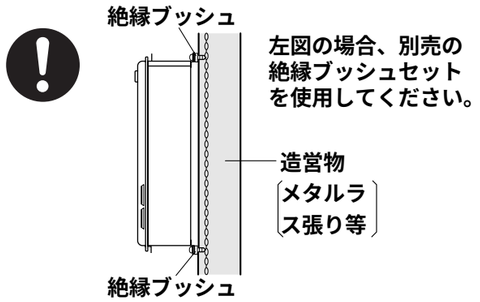


他のガス種・電源を使用すると機器が正常に作動しなくなり、異常燃焼し一酸化炭素中毒や火災の原因となります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

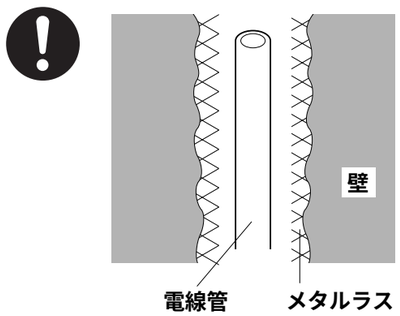
⚠警告

メタルラス張りなどの壁に機器を取り付ける場合は、機器とメタルラスとは電気的に接続しないようにする（電気設備技術基準により義務づけられています。）



漏電が発生した場合、感電や火災の原因となります。

メタルラスと金属電線管は電気的に接続しないようにする（メタルラス張りなどの壁の場合。電気設備技術基準により義務づけられています。）

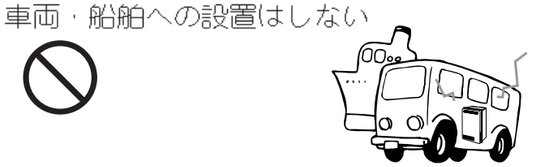


漏電が発生した場合、感電や火災の原因となります。

ソーラー（太陽熱温水）システムに接続する場合は、必ず混合水栓を取り付ける

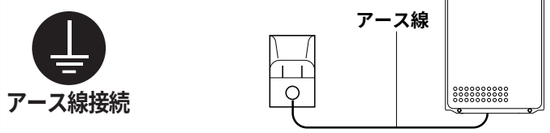
給湯温度調節ができず、やけどの原因となります。

車両・船舶への設置はしない



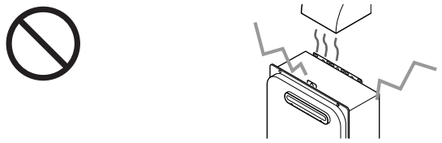
振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因となります。

アース接続する



漏電が生じた場合、感電の原因となります。

換気扇、レンジフードなどからの風が機器の給排気に影響を与える場所への設置はしない（業務用の換気扇、レンジフードは特に注意する）



レンジフードなどからの排気が機器にかかると不完全燃焼などの原因となります。

クリーニング店・工場などで使用される業務用薬品（アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など）を使用する場所には設置しない

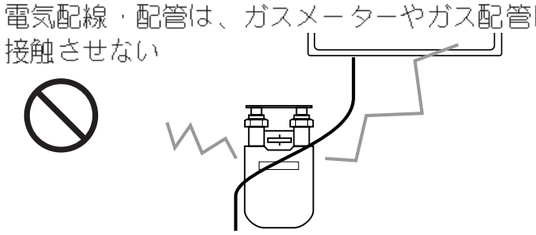
塩素系溶剤は腐食性ガスの発生により金属のさびや機器故障、また健康を害する原因となります。

排気ガスが、直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないように設置する、または、動植物への影響も考慮する

外壁の変色、アルミサッシの腐食、動植物への危害の原因となります。

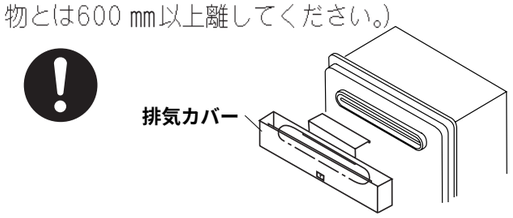
⚠注意

電気配線・配管は、ガスメーターやガス配管に接触させない



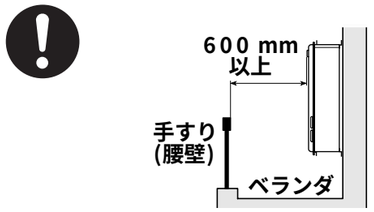
漏電した場合、感電や火災の原因となります。

排気ガスが隣の家に入り込む恐れのある場合、また植栽に直接あたる場合は別売品の排気カバーを取り付ける（この場合は上方可燃物とは600 mm以上離してください。）



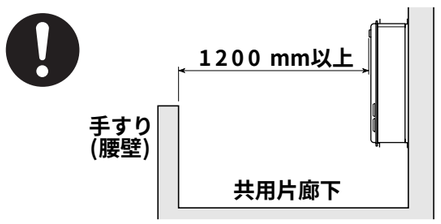
室内に排気ガスが流入すると一酸化炭素中毒の原因となります。また、植栽に排気ガスが直接あたると枯れたりします。

ベランダなどが避難通路となる場合は、600 mm以上の避難通路を確保する



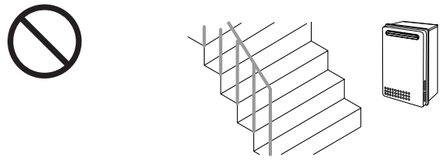
緊急時の避難がスムーズにできなくなります。

集合住宅の共用片廊下に設置する場合には、1 200 mm以上の避難通路を確保する



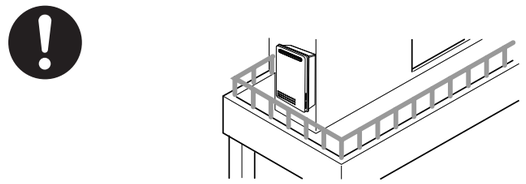
緊急時の避難がスムーズにできなくなります。

階段、避難口近くへ設置しない



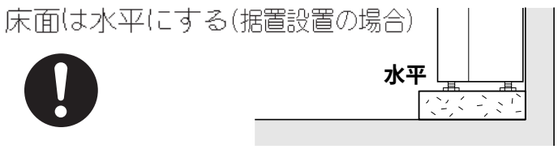
緊急時の避難がスムーズにできなくなります。

2階以上では、落下防止の柵などのある場所に設置する



地震などで機器が落下した場合、家屋の損傷およびケガの原因となります。

床面は水平にする（据置設置の場合）

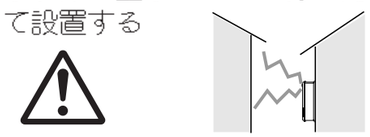


異常燃焼や、凍結予防のための水抜きが十分できなくなります。

必ず垂直な壁に取り付ける（壁掛設置の場合）

異常燃焼や、凍結予防のための水抜きが十分できなくなります。

設置場所によっては近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがあるため、十分配慮して設置する

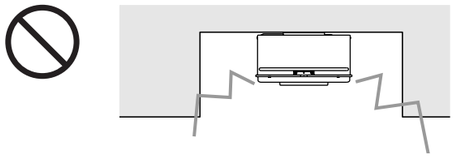


騒音が気になったり、温風で木が枯れたりします。（壁などの反響によって音が大きくなることもあります。）

安全上のご注意 （必ずお守りください）

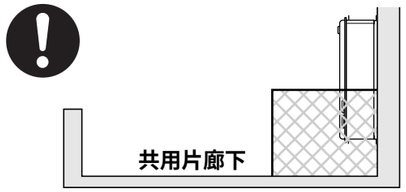
⚠注意

くぼみや突出物で囲まれた場所には設置しない



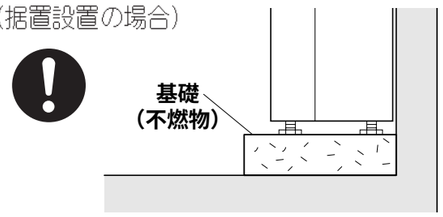
気流の乱れにより正常な給排気ができなくなり、不完全燃焼の原因となります。

共同通路などに面し、手を触れるおそれのある場所に設置されるときは、柵などで防護処置をする(ただし、本体からと排気口からの離隔距離を両方満足する)



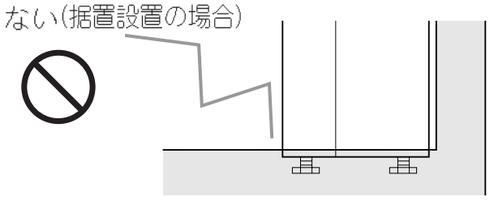
防護処置がない場合はやけどの原因となります。

必ず基礎（不燃材）の上に設置する（据置設置の場合）



可燃物の上に設置すると火災の原因となります。

据置台の脚を外して地面に密着させたり、機器の底が埋め込まれた設置をしない(据置設置の場合)



機器底部からも燃焼に必要な空気を取り入れており、不完全燃焼の原因となり危険です。また据置台の腐食の原因となったり、アフターメンテができなくなります。(据置台使用の場合)

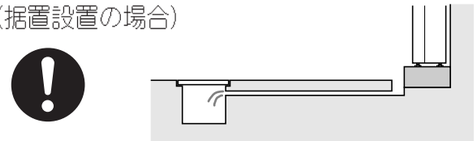
排気方向1 m以内に網入り板ガラスがある場所に設置しない

網入り板ガラスが割れる原因となります。(やむを得ず設置する場合は、排気方向の変更を行なう)

排水状況を確認し機器が冠水するような状態に設置しない（据置設置の場合）

火災や、異常燃焼による機器故障の原因となります。

機器を設置した真下の地面・床面は水がたまらないように排水処理工事を行なう（据置設置の場合）

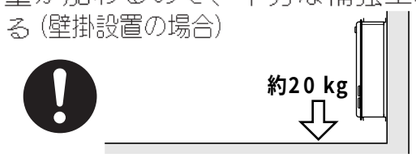


機器が冠水の状態になると十分な給気ができなくなり、異常燃焼による機器故障の原因となります。

この機器を設置する床には下記の質量（据置台を含む）が加わるので、十分な補強工事をする（据置設置の場合）

十分な補強工事がされないと、機器が転倒する恐れがあります。

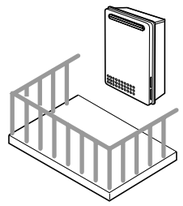
この機器を設置する外壁には下記の質量が加わるので、十分な補強工事をする（壁掛設置の場合）



十分な補強工事がされないと、機器が落下する恐れがあります。

設置上のお願い

高所に機器を設置する際は、機器本体正面に作業スペースを設ける

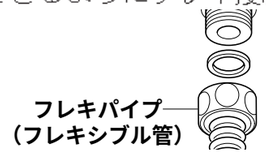


アフターメンテができなくなります。(作業ができない場合はアフターメンテをお断りすることがあります)

給水配管工事は給水事業者の指定工事店に依頼する（給水事業者の規定に従う）

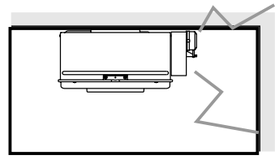
配管など正常に設置されないと、機器故障の原因となります。

給水、給湯の接続は修理の際などに分解できるようにフレキ接続する



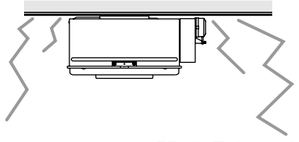
アフターメンテができなくなります。

機器は全周が金属でおおわれた場所に設置しない(コードレスリモコンの場合)



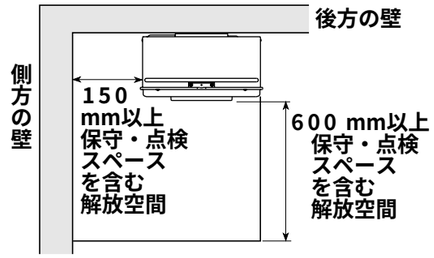
電波が通らず通信不能となります。

外壁が金属の場所および強い電磁界を発生する場所には設置しない（コードレスリモコンの場合）



機器本体とリモコンの間で通信できない場合があります。

機器の点検・修理ができるように十分なスペースを確保する(機器前方は600 mm以上の空間を設けてください)



〈上から見た図〉

アフターメンテができなくなります。(作業ができない場合はアフターメンテをお断りすることがあります)

機器下方にも、配管工事および水抜き操作のできる十分なスペースを確保する

アフターメンテができなくなります。(作業ができない場合はアフターメンテをお断りすることがあります)

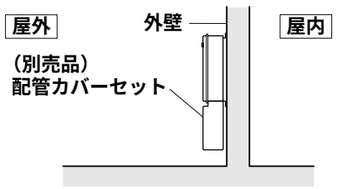
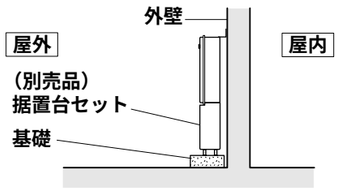
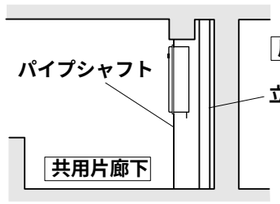
ソーラー（太陽熱温水）システムに接続する場合は次に従う

- 真空断熱型などでソーラーシステムからの出湯温度が60 ℃以下に調整できないものには接続しない
- 2階への給湯配管はしない
  (入水圧が低くなるため給湯できません。)
- 圧力損失の少ないシャワーセットを使用する
  (圧力損失が大きいとシャワー湯量が十分得られない場合があります。)

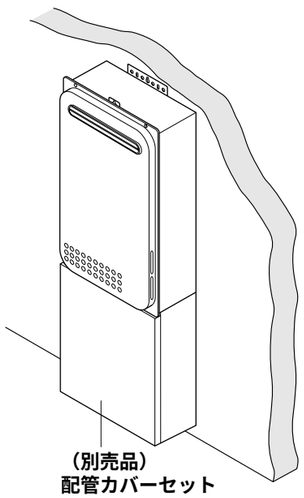
上記を怠ると高温水が出て、やけどや機器故障の原因となります。

機器の設置

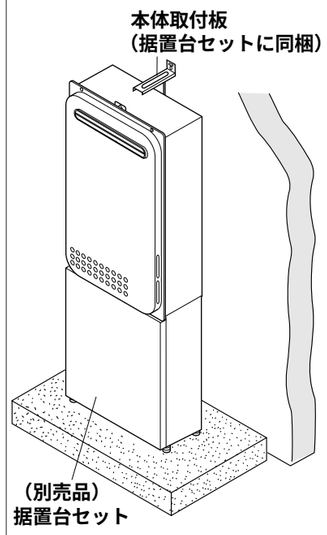
この機器の設置方式には、壁掛設置・据置設置・パイプシャフト設置の3通りがあります。

設置方式	設置形態	備考
壁掛設置 GW-16Y6・GW-16Y6M GW-20Y6・GW-20Y6M GW-24Y6 GW-16Y7・GW-16Y7M GW-20Y7・GW-20Y7M GW-24Y7		戸建住宅の外壁および集合住宅のベランダ設置に最適。配管カバーセット(別売品)をご使用ください。 別売品一覧参照
据置設置 GW-16Y6・GW-16Y6M GW-20Y6・GW-20Y6M GW-24Y6 GW-16Y7・GW-16Y7M GW-20Y7・GW-20Y7M GW-24Y7		戸建住宅および集合住宅のベランダで外壁に面したスラブ(地面)に据え置いて設置する方法。据置台セット(別売品)をご使用ください。 別売品一覧参照
パイプシャフト設置 GW-16Y6・GW-16Y6M GW-20Y6・GW-20Y6M GW-24Y6 GW-16Y7・GW-16Y7M GW-20Y7・GW-20Y7M GW-24Y7		集合住宅のデッド・スペース利用として、パイプシャフト(メータボックス)の空間に設置する方法。PS用金枠(別売品)をご使用ください。 別売品一覧参照

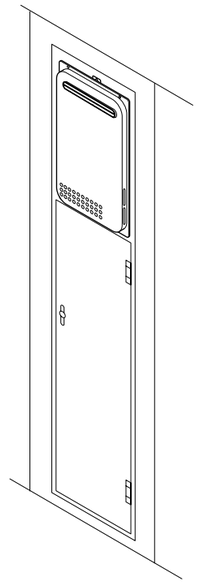
■壁掛設置
(GW-24Y6の場合)



■据置設置
(GW-24Y6の場合)



■パイプシャフト設置
(GW-24Y6の場合)



壁掛設置 (絶縁処置が不要な場合)

①機器本体を取り付ける壁面に、取付設置図(右図)に従って取付位置を決める。

※取付寸法は取付設置図(13ページ)を参照してください。

②壁面に直接木ねじが使用できない場合は、カールプラグを打ち込んで、③～⑥の施工をしてください。

③上部壁掛金具中央の位置に木ねじ1本を右図の様に2～3 mm残し、取り付ける。

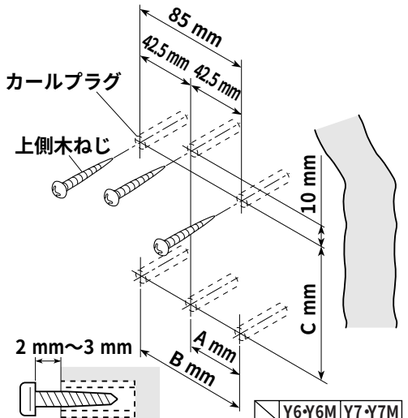
④機器本体を取り付ける。

〔お願い〕

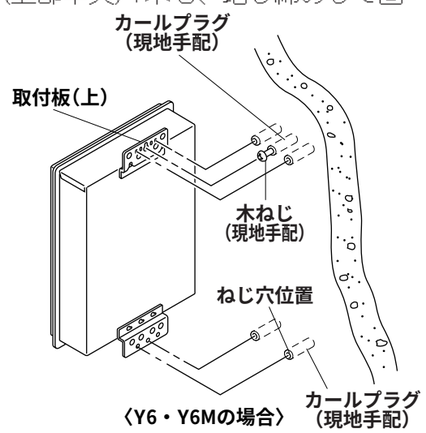
●ゆがみ・ズレのないように取り付けてください。

⑤右図のように木ねじで上部両端2カ所、下部2カ所を固定する。(本体を壁に固定する。)

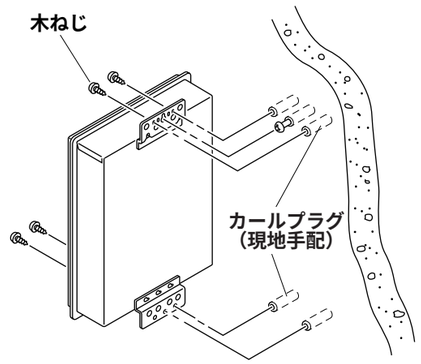
⑥最初の木ねじ(上部中央)1本も、増し締めして固定する。



	Y6・Y6M	Y7・Y7M
A	42	47.5
B	84	95
C	552	632



〈Y6・Y6Mの場合〉



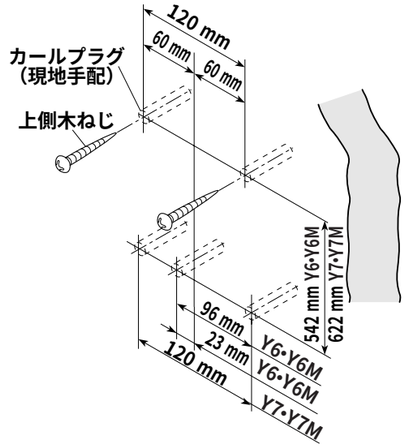
〈Y7・Y7Mの場合〉

機器の設置

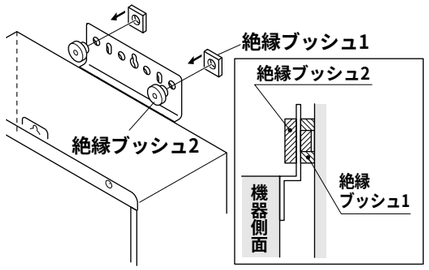
壁掛設置（絶縁処置が必要な場合）絶縁ブッシュセット（別売品）：AD-G021を使用する

①機器本体を取り付ける壁面に、取付設置図（右図）に従って取付位置を決める。
※取付寸法は取付設置図（13ページ）を参照してください。

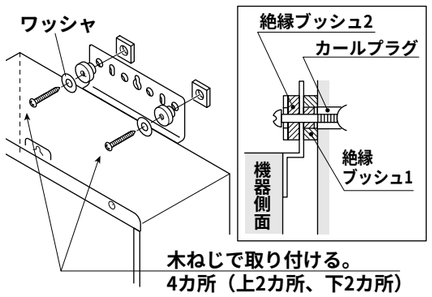
②壁面に直接木ねじが使用できない場合は、カールプラグを打ち込んで、③～④施工をしてください。



③機器の壁掛金具に、後方より絶縁ブッシュ1を貼り付ける。絶縁ブッシュ2で壁掛金具を挟み込む。
（上：2カ所、下：2カ所）



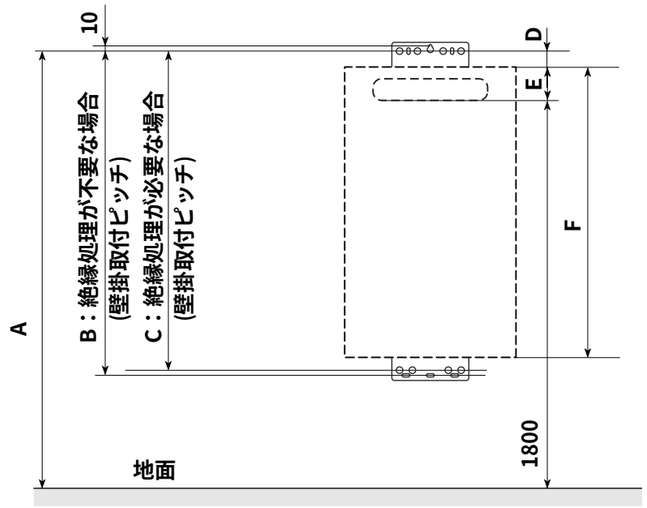
④機器本体を絶縁ブッシュ（上2カ所、下2カ所）に木ねじとワッシャで壁面に固定する。
〔お願い〕
●機器の垂直を確認しながら行なってください。



取付設置図

●下図は排気吹出し口の下端を地面から1 800 mm（1 m 80 cm）の高さとした場合の設置図です。

〔単位：mm〕



	Y6・Y6M	Y7・Y7M
A	1898	1894
B	552	632
C	542	622
D	31	31
E	67	63
F	487	566

据置設置

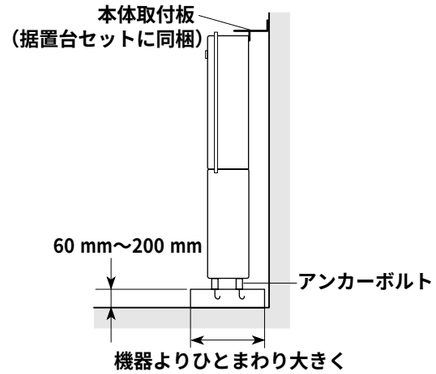
■ 付帯設置工事について

●機器転倒防止（アンカーボルトなど）が取り付けられる工事をしてください。

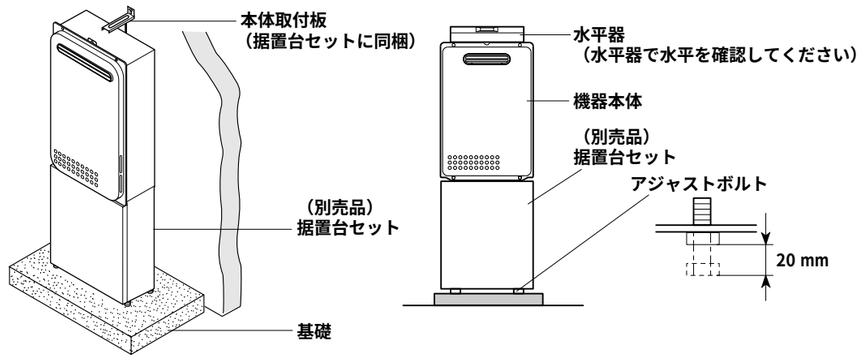
■ 設置について

●据置設置をする場合には、別売品の据置台セットをご使用ください。

●取付方法については、据置台セットの工事説明書に従ってください。



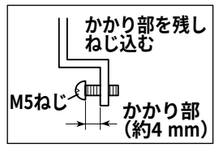
〔お願い〕●地震などの転倒防止のため、機器本体を壁面に本体取付板で固定してください。



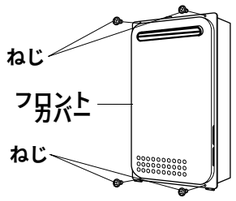
機器の設置

パイプシャフト設置

①M5ねじ（同梱部品）を取付金枠上部に、かかり部（約4 ㎜）を残し、ねじ込んでください。

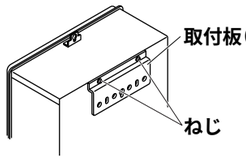


②機器のフロントカバーを取り外してください。
フロントカバーの正面上下各2カ所のねじを外して、フロントカバーを手前に引くと外れます。

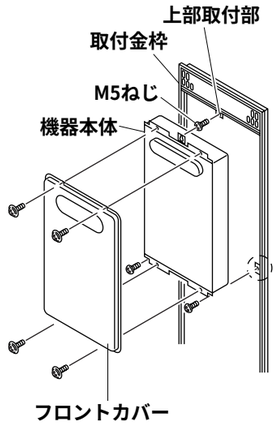


③パイプシャフト取付金具上方の穴を取付金枠上部のM5ねじに引っ掛けてください。

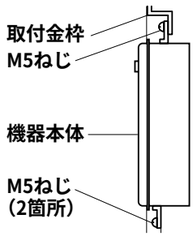
〔お願い〕
●取付板（上）が機器取り付けの邪魔になるときは機器本体より外して、下向きに取り付けてください。



取付板は必ず取り付けてください。防火上の問題が発生します。

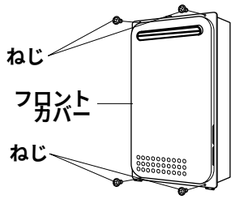


④パイプシャフト取付金具下方の2カ所の穴を取付金枠に合わせ、M5ねじで固定した後、上方のM5ねじを閉めてください。



⑤電気配線工事を行なってください。

⑥機器のフロントカバーを取り付けてください。



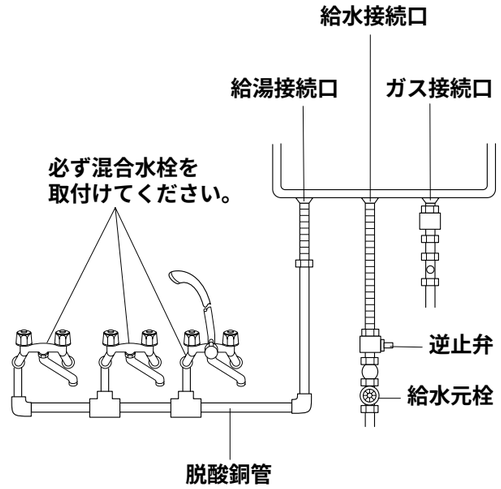
〔お願い〕
●電源は機器本体に直結してください。
●ガスメーターやガス配管と電気配管は接触させないでください。
●パイプシャフト内設置の扉の上下に有効面積100 ㎠程度の換気口を設けてください。
●パイプシャフト内への設置は自治体によっては、独自の規定をしている場合があるため確認してください。

給水・給湯配管工事

機器配管接続口

機器本体まわりの配管接続は右図の通り行なってください。

		配管径
給水	16号・20号	15A（R1/2）
	24号	20A（R3/4）
給湯	16号・20号	15A（R1/2）
	24号	20A（R3/4）



●配管工事は給水事業者の指定工事店に依頼し、給水事業者の規定に従ってください。
●この機器は約60 ℃一定になっていますので必ず混合水栓を使用してください。
（リモコンなしの場合）

給　水　配　管

(1)給水圧力について
●この機器は点火するために、［機器の作動水圧］＋［給湯配管の損失水頭］（通水時）以上の給水圧力を確保する必要があります。

必要給水圧（機器入口圧）＝作動水圧（15kPa（0.15 kgf／㎠））＋損失水頭＋α（余裕）

●給水管は水道管より直接配管してください。
●特に高水圧地域では減圧弁（別売品：AD-3224GBP）を必ず取り付けてください。
●ポンプを使用される場合は出力200 W以上のポンプを使用し、機器と給水元栓の間に減圧弁（別売品：AD-3224GBP）を必ず取り付けてください。
・ポンプの圧力スイッチの設定圧は最低圧（140 kPa（1.4 kgf／㎠））以上のものを使用してください。
〔お知らせ〕
・出力200 W未満や設定圧140 kPa（1.4 kgf／㎠）未満のポンプを使用したり、減圧弁を取り付けなかった場合には、湯温が変動します。

(2)機器の給水接続口の近くには、必ず給水元栓と逆止弁を取り付けてください。
(3)給水管の接続口を間違えないようにしてください。接続口を間違えると機器は使用できません。
(4)機器に接続する前に、必ず水を流して配管内のごみを排出してください。

給　湯　配　管

(1)配管は脱酸銅管の使用をおすすめします。
鉛管配管・塩ビ配管の使用は絶対にさけてください。使用している間に破裂する危険があります。
(2)機器は湯をひんぱんに使う場所の近くに取り付け、給湯配管はできるだけ短距離にしてください。

給水・給湯配管工事

(3)給湯配管は取り付けた機器とほぼ同じ高さで、できるだけ平面的に配管し、階下へは配管しないようにしてください。

(4)必要以上の太い配管はやめてください。

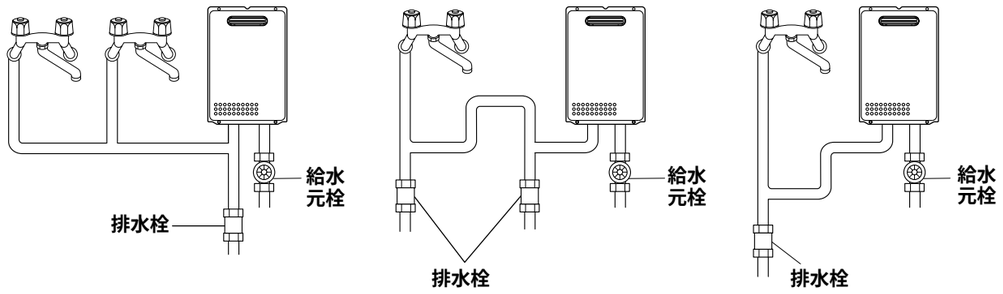
(5)給湯配管は空気だまりを作らないようにしてください。
配管中に空気だまりがあると、給湯栓を閉めてから機器のバーナーが消火するまでに時間がかかったり、機器を使用しないときに、他の水道栓を開閉すると、機器のバーナーに瞬間的に火がつくなどの現象が生じます。

(6)給湯配管は水抜きが容易にできるように1／100～1／200程度の先上がり勾配を付けてください。

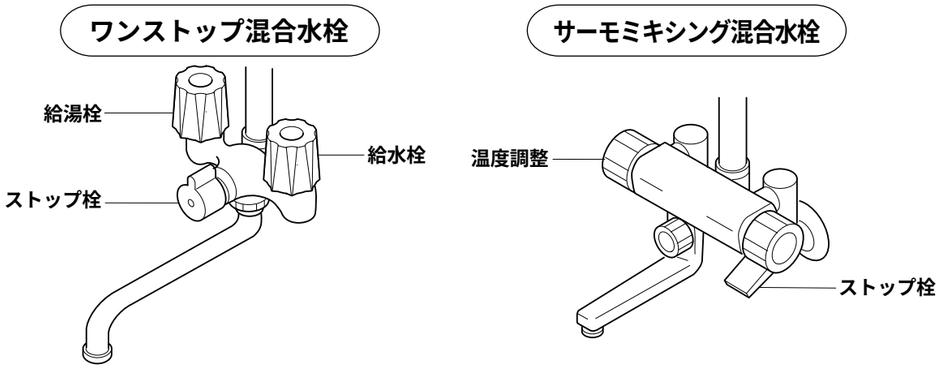
(7)シャワーセットはできるだけ圧力損失の少ないものを使用してください。

(8)2階へ給湯する場合は、機器入口で(150 kPa(1.5 kgf／㎠))以上(通水時)の給水圧力が必要です。
(詳しくは、必要給水圧の計算をし、その値より大きな給水圧力を確保してください。)

(9)給湯配管が万一、下図のようになったときは、水抜きができなくなりますので必要な箇所に排水栓を設けてください。



(10)混合水栓には、いろいろな種類がありますが下図のようなタイプが使いやすいのでおすすめします。(ストップ栓を開くだけでセットされた温度の湯が出てきます。)



凍結予防工事

●配管は必ず保温材(厚さ25 ㎜以上)で被覆してください。
(フレキパイプも必ず保温してください。)

●冷え込みの厳しい地域では、さらにナショナル水道凍結防止器(品番DR2232、30W以上)を配管およびバルブ類に巻いて、十分な保温を行なってください。

●パイプシャフト内の配管には水道凍結防止器などの電気ヒーターは使用できませんので、保温材を厚めにしてください。

●水抜き栓は、保温材で包み込まないでください。

●配管内の水抜きが容易にできるように措置をしておいてください。

ガス配管工事

(1)**ガス栓**

●機器を使用する場所にガス栓がない場合、あるいは、あっても位置や寸法などが適切でない場合には、新設・移設または交換などが必要ですのでガス供給業者にご相談のうえ、ガス栓を必ず取り付けてください。

(2)**ガス接続**

●ガス接続口には、必ずユニオンを取り付けてください。

●ガス接続口径

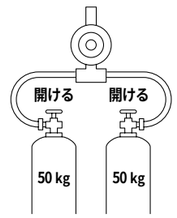
ガス種	配管径(配管長さ20 mまで)
LPガス用・都市ガス用(13A,12A)	15A(R1/2)
都市ガス用(13A,12A以外)	20A(R3/4)

●配管接続は、ガス供給業者の指定する工事店に依頼し、ガス供給業者の指定する材料および工法で行なってください。

(3)**LPガス用ガス容器の容量にご注意ください。**

●この機器だけをお使いになるときの適用LPガス容器は下表のとおりですが、長時間の連続使用、他のガス機器との同時使用、冬期にLPガス容器のガス発生量が低下することを考慮して適当に追加してください。

表示ガス消費量			ガス容器の数
16号	20号	24号	50 kg型
34.9 kW(2.49 kg/h)	43.6 kW(3.11 kg/h)	52.3 kW(3.74 kg/h)	……2本



〔参考〕：冬期蒸発量（0 ℃使用)

10 kg型	7.70 kW(0.55 kg/h)最大
20 kg型	14.7 kW(1.05 kg/h)最大
50 kg型	34.9 kW(2.50 kg/h)最大

●LPガス用調整器は、表示ガス消費量に見合った家庭用・業務用の低圧調整器を使用してください。
〔お願い〕工業用の中・高圧用は絶対に使用しないでください。

電気工事

(1)使用電源

●この機器にはAC100 V電源が必要です。
●機器本体を設置する場所に電源コンセントがない場合、またはあっても適切でない(位置・容量など)場合には、新設・移設または交換などが必要です。
〔参考〕電源コードの長さは1.7 m(Y6・Y6M)、1.5 m(Y7・Y7M)です。(壁掛・据置設置の場合)
●電気配線については、電力会社の指定工事店にご相談ください。
●電源コードが余った場合は、機器外でまとめ、機器内には入れないでください。機器の故障の原因になります。

(2)電源(コンセント)・アース工事について

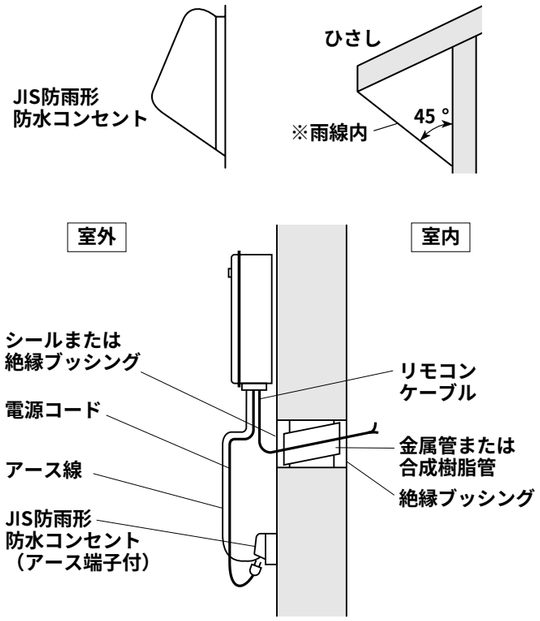
壁掛・据置設置の場合

●JIS防雨形防水コンセント(アース端子付)を設置してください。

①JIS防雨形防水コンセントを利用する場合

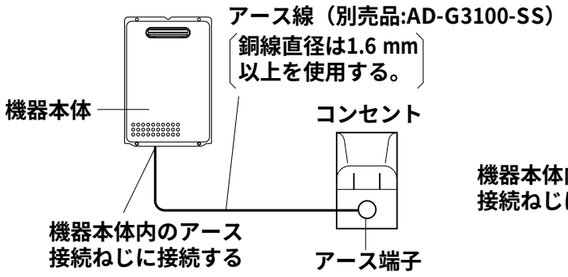
〔お願い〕
1.コンセントにアース端子が付いていない場合は、別途、D種接地工事を行なってください。
2.コンセントは、地上より300 ㎜以上の高さの位置に取り付けてください。
3.コンセントとガス管および水道管とは100 ㎜以上離してください。
4.機器の水抜き栓からの水が直接コンセントに当たらない位置に設置してください。

②JIS防水形防水コンセント以外のコンセントの場合は、コンセントに雨がかからないように、次のいずれかの処置を行なってください。
1. 雨線内に設置する。
2. 外箱などの有効な防雨処置をする。
3. 室内の分電盤を利用する。

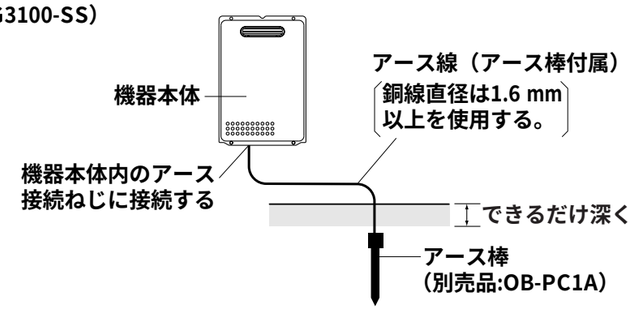


●感電事故防止のため、電気設備技術基準に基づき、D種接地工事を行なってください。
●アース線は、漏電安全装置近傍の⏚表示のあるアース接続ねじに接続してください。
●下図のいずれかの方法で必ずアースしてください。

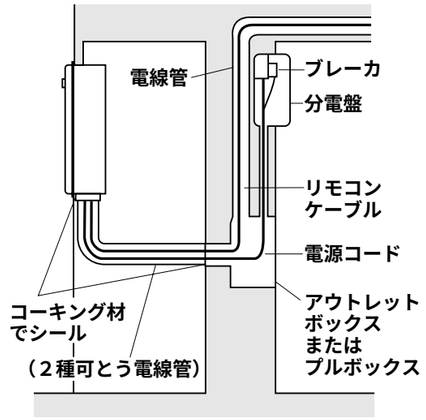
●コンセントにアース端子が付いている場合



●アース棒を使用される場合



パイプシャフト設置の場合

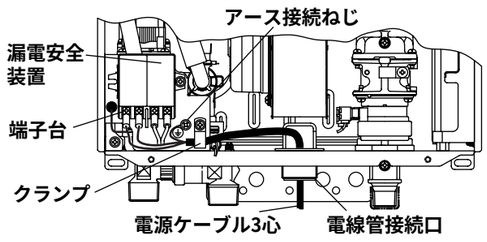


●換気口のない場合
火災予防上、パイプシャフト内にコンセントの設置はできませんので室内の分電盤を利用してください。

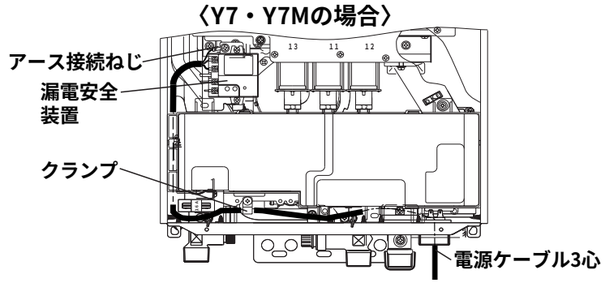
〔お願い〕
1.パイプシャフト設置では、ケーブル工事をすること。電源ケーブルはパイプシャフト用の電源ケーブル(AD-GWP38-30)(別売品)を使用してください。
2.ケーブル配線は2種可とう電線管で保護すること。機器から壁貫通穴まで2種可とう電線管で保護してください。
3.パイプシャフト内では、電源ケーブルおよび接続電線を切断接続しないでください。
4.パイプシャフト内および内壁面には、配線用ボックスを使用しないでください。ただし防爆構造を施したものはこの限りではありません。
5.電線管がパイプシャフト内壁面を貫通する部分および機器の接続部分はコーキング材によりシールし、パイプシャフトの外との気密が保たれる措置をしてください。
6.分電盤にアース端子がない場合は、別途、D種接地工事を行なってください。

●電源ケーブルは漏電安全装置の端子台に接続してください。
●アース線は漏電安全装置近傍の⏚表示のあるアース接続ねじに接続してください。

〈Y6シリーズ・Y6Mの場合〉



〈Y7・Y7Mの場合〉



リモコン工事

リモコンを付けない場合

●通常湯温は約60 ℃に設定されています。お客様が約42 ℃を希望される場合は、結線図に同梱の温度切換コネクター42を使用してください。お客様がさらに高温(約75 ℃)を希望される場合は、サービスパーツ温度切換コネクター75（N 043）を使用してください。温度切換コネクターの取り付けは本体内の結線図に従ってください。
●約60 ℃、約75 ℃で使用の場合は、お客様にやけどのおそれがあるため、必ず混合水栓で湯温を調整し湯温を確認したのち使用することと機器運転音が大きくなることを説明してください。

リモコンを取り付ける場合

●リモコンケーブル線の接続工事は電気工事士の資格がなくてもできますが、技術基準に定められた方法で行なってください。
●適用リモコン

	コード接続式(2心ケーブル使用)タイプ		コードレスタイプ
	お湯はりオート付	お湯はりオートなし	
台所リモコン	GW-P180	GW-P182	GWE-P302
浴室リモコン	GW-P181	GW-P183	GWE-P303

●コード接続式タイプおよびコードレスタイプを選択して取り付けできます。
(但しGWE-P303のみの取り付けはできません。)
※コード接続式タイプとコードレスタイプを混在して取り付けることはできません。
※お湯はりオート付とお湯はりオートなしのリモコンを混在して取り付けることはできません。
※各リモコンの工事説明書も併せてご覧ください。

■使用ケーブル線（GW-P180,GW-P181,GW-P182,GW-P183の場合、別売品のケーブル線を使用してください。）

			形態	長さ
壁掛・据置設置	台所リモコン	AD-GWP102 リモコンケーブル (灰色、2心、外径Φ6.8 mm)	約φ8mm	3 m・5 m・8 m 10 m・15 m・20 m
	浴室リモコン	AD-GWP221 リモコンケーブル (灰色、2心、外径Φ6.8 mm)	コネクター (浴室リモコンに接続)	
パイプシャフト設置	浴室リモコン 台所リモコン	AD-GWP102P50 シールド付リモコンケーブル (600 Vビニル絶縁電線) (灰色、2心、外径Φ9 mm)	同梱部品〔カプセル端子/Y端子 結束バンド/アース線〕 ●浴室リモコンとの接続は、浴室リモコンのコネクターを切断してカプセル端子を用いて結線してください。	50 m
	電源ケーブル	AD-GWP38-30 HVCT(600 Vビニルキャブタイヤケーブル (3心、外径Φ11 mm)	同梱部品〔2Pコネクター付リード線 棒圧着端子 カプセル端子 めがね端子〕	30 m

■使用電線管（保護管）　表中の電線管内径はケーブル線が1～3本の場合の参考値です。

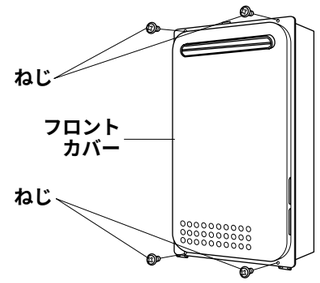
	1本	2本	3本
収納する電線	AD-GWP 38	AD-GWP102P50(1本)とAD-GWP 38(1本)	AD-GWP102P50(2本)とAD-GWP 38(1本)
使用電線管の呼び径（薄鋼電線管）	19以上	31以上	31以上

●AD-GWP102、AD-GWP221は、電源ケーブルと同一電線管内には収納できません。(法令などで禁止されています。) AD-GWP 102P50を使用してください。
●パイプシャフト内では2種可とう電線管で保護してください。ケーブル線の露出や接続部を作らないでください。

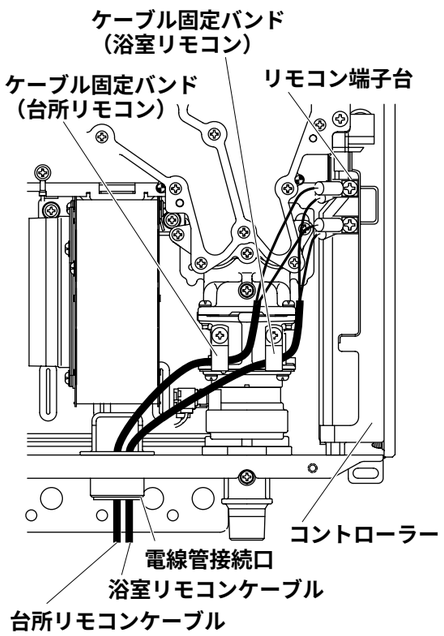
■別売品のリモコンについて
GW-P 180、GW-P 181、GW-P 182、GW-P 183の場合、機器本体との接続は次の要領で工事を行なってください。

●はじめに
●必ず電源プラグを抜いてから行なってください。
●ケーブル線の総延長が20 m以内になるように配線工事を行なってください。

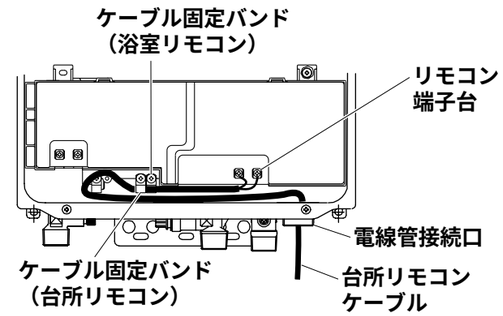
(1)機器本体のフロントカバーを取り外してください。(ねじ4本)
(2)機器本体底面の電線管接続口からケーブル線を引き込んでください。
(3)ケーブル線を電装ユニットにあるリモコン端子台に接続してください。
〔お願い〕
●ケーブル線は、ケーブル固定バンドで必ず固定してください。
●台所リモコンと浴室リモコンを取り付ける場合は、ケーブル線の端子をリモコン端子台に共締めしてください。
(4)ケーブル線の反対側を台所リモコンの端子台または浴室リモコンのコネクターに接続してください。
(5)配線完了後、機器本体のフロントカバーを取り付けてください。(ねじ4本)
〔お願い〕
●フロントカバーへのケーブル線のかみ込みに注意してください。
●リモコンケーブルが機器のヒータに接触しないように配線してください。



〈Y6シリーズ・Y6Mの場合〉



〈Y7・Y7Mの場合〉



※電線管接続口入り口の横棒のためコードが機器内に引き込めない場合は、ニッパー等で切断してください。

試運転

(1)ガス配管中の空気抜き

ガス配管中の空気が抜けるまで火がつきません。給湯栓を「5秒間開く」「3秒間閉じる」操作をバーナーに火がつくまでくり返してください。

(2)取扱説明書に基づき、試点火および試運転を行なってください。

(3)初期運転時に異常と感じたら、取扱説明書の「故障かな？」を参照してください。

●フロントカバーを外して点火させた場合、着火音・燃焼音が大きくなることがありますが、異常ではありません。

(4)試運転が終わりましたら、凍結予防のため、水抜きを必ず行なってください。水抜きを忘れた場合は機器が破損することがあります。(取扱説明書参照)

(5)水ストレーナの掃除

試運転が終わりましたら、給水接続口にある水抜き栓を取り外し、ストレーナの掃除を行なってください。(取扱説明書参照)

(6)お客様への説明

①取扱説明書に従って、お客様へ取扱方法をご説明ください。特に「安全上のご注意」「使いかた」をよくお読みになりご説明ください。

②保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。また取扱説明書に従って「アフターサービス」についてご説明ください。

(7)冬期にご使用の場合

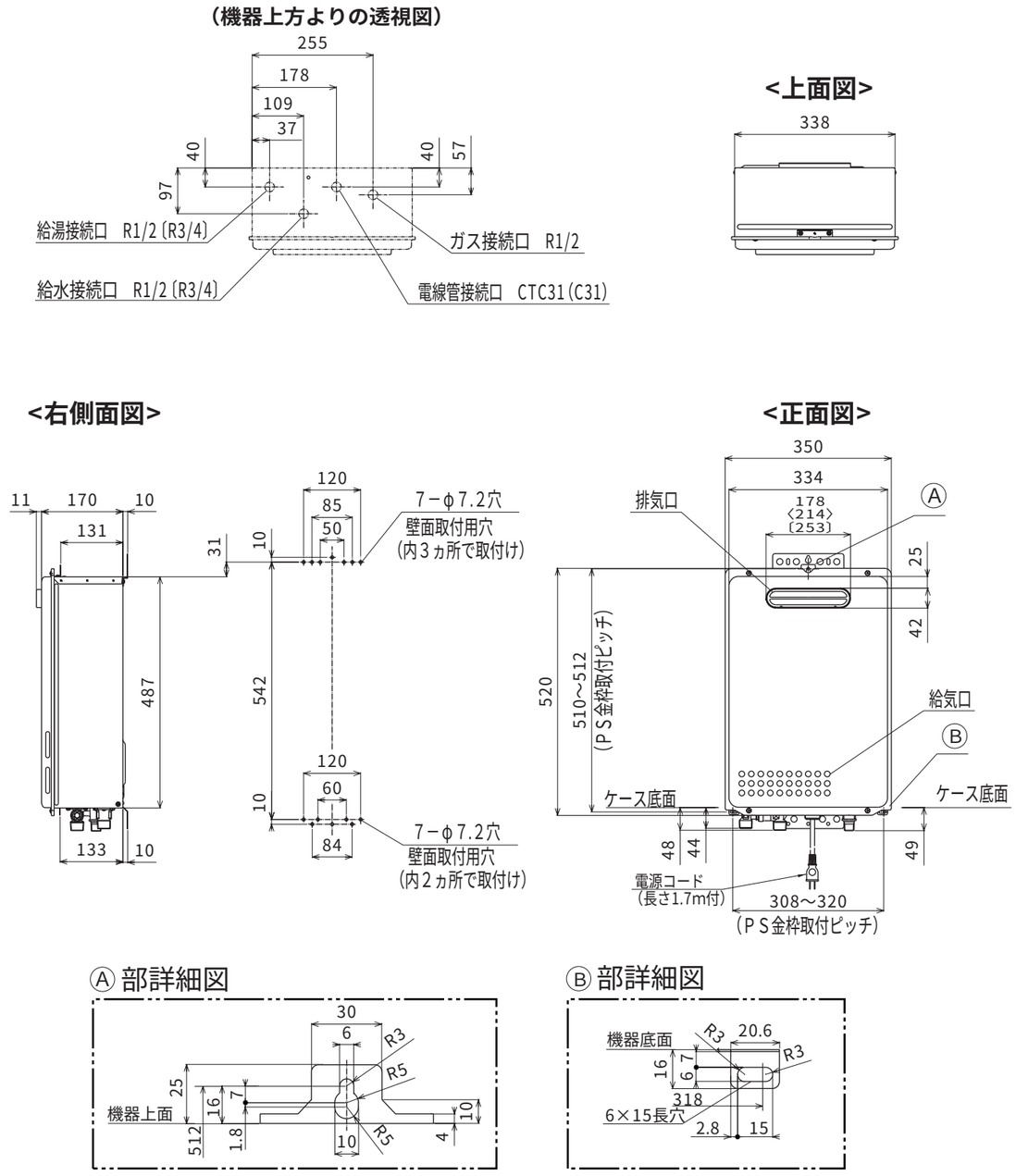
●寒い日には機器の排気口より白い湯気が出ることがありますが、これは排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。

■本体品番ラベルの貼付け

ご使用のリモコンに、本体品番と照合して本体品番ラベルを下図の位置に貼り付けてください。

	コードレスリモコン	コード接続式リモコン	
		お湯はりオート付タイプ	お湯はりオートなしタイプ
台所リモコン	本体品番ラベル	本体品番ラベル	本体品番ラベル
浴室リモコン	本体品番ラベル	本体品番ラベル	本体品番ラベル

外形寸法図

●GW-16Y6・GW-16Y6M
●GW-20Y6・GW-20Y6M
●GW-24Y6

〔単位：mm〕
※〈　〉内の数値はGW－20Y6・20Y6Mの場合
※〔　〕内の数値はGW－24Y6の場合